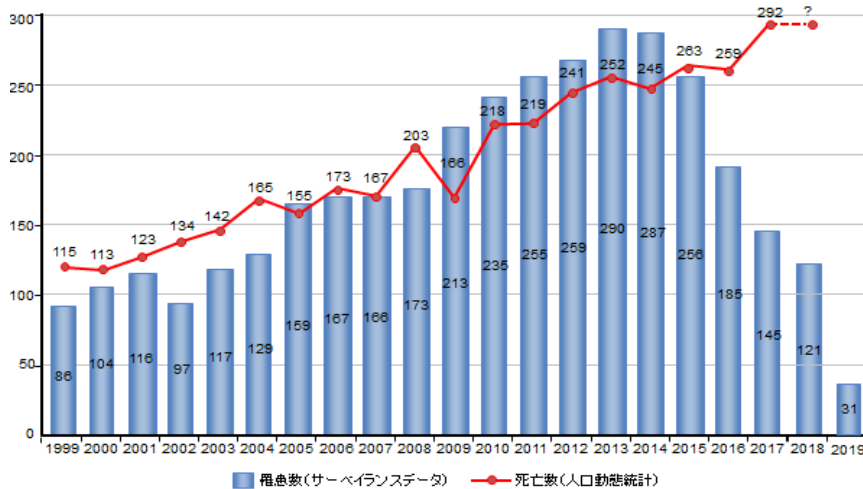


わが国のプリオン病の疫学的実態(2020年2月)

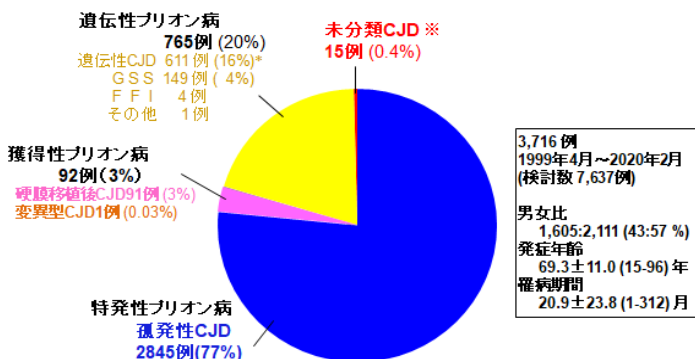
研究代表者: 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 水澤 英洋

プリオン病: 発病者数と死亡者数の年次推移 (n=3716)



1999年4月~2020年2月

プリオン病の内訳



3,716例
1999年4月~2020年2月
(検討数 7,637例)

男女比
1,605:2,111 (43:57%)

発症年齢
69.3±11.0 (15-96) 年

罹病期間
20.9±23.8 (1-312) 月

*PrP^{Sc}遺伝子変異の確認の無い16例を含む。
2例は挿入変異。

[2020年2月7日現在]

※CJDは罹患しているものプリオン遺伝子検査中や硬膜移植歴の確定中の症例

Copyright © CJDサーベイランス委員会. All rights Reserved.

1999年4月~2020年2月

解 説

1. プリオン病サーベイランス委員会は、1999年4月1日から2020年2月7日までに7637例を検討し、3716例をプリオン病と判定した。
2. 病型別にみると孤発性CJD 2845例(77%)、遺伝性プリオン病 765例(20%)、硬膜移植後CJD 91例(3%)、変異型 1例(0.03%)であった。

※ 2015年以降、サーベイランス結果が人口動態調査数より少ないのは、調査が完了していないため